

年間指導計画・評価計画

第5学年 国語

月	単元名	学習内容
4月	・かんがえるのつておもしろい ・なまえつけてよ	描かれていることを思い浮かべながら、詩を声に出して読んだり、友達の音読を聞いたりする。 登場人物の関係や心情の変化に着目して物語を読み、感じたことや考えたことをノートに書く。物語を読んだ感想をまとめ、感想を伝え合う。
5月	・きいて、きいて、きいてみよう ・見立てる	目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして伝え合う。 文章構成や事例の挙げ方、原因と結果の関係、事例と筆者の考えの結び付きなどを確かめる。文章の要旨をまとめ筆者の考えや、その考えを分かりやすく伝える表現の工夫について、自分の考えをまとめる。
6月	・言葉の意味が分かること	文章構成や事例の挙げ方、原因と結果の関係、事例と筆者の考えの結び付きなどを確かめる。文章の要旨をまとめ筆者の考えや、その考えを分かりやすく伝える表現の工夫について、自分の考えをまとめる。
	・日常を十七音で	俳句を作り、友達と読み合い、言葉や表現を工夫したところを説明したり、友達の俳句についての感想を伝えたりする。
7月	・目的に応じて引用するとき	目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にする。
	・みんなが過ごしやすい町へ ・作家で広げるわたしたちの読書	身の回りの工夫を見つけ、題材を決め、調べ方を選んで調べる。報告する文章の構成を考え報告文を書く。 P86「カレライス」を読み、感想を伝え合い、これから読んでみたい作家を決めて、本を探して読む。P85を参考に「しょうかいカード」を書く。
9月	・新聞を読もう ・たずねびと	新聞の作りを確かめる。2つの記事を比べて読み、違いが与える印象について考える。 本文を読んで、「綾」の心情の変化を捉える、「自分の気持ちや考えの変化」に焦点を当てながら、感じたことや考えたことをノートにまとめる。
10月	・漢字の読み方と使い方 ・よりよい学校生活のために	漢字は言葉によって、読み方が変わる場合があることを確認。 図表やグラフ、写真を使った意図と効果を考え、要旨を捉える筆者の考えや論の進め方について、自分の考えをまとめる。
11月	・固有種が教えてくれること	・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解する。
12月	・やなせたかし ・あなたは、どう考える	・伝記に取り上げられている出来事確かめ、「たかし」の考え方や、筆者が「たかし」をどんな人物だと考えているかについてまとめる。 ・「たかし」の行動や考え方について自分の考えを書く。 ・自分の関心のあることから題材を決め、自分の考えをもつち、グループで見せ合ったりして、他の立場から自分の考えを見直す。文章の構成を決め、意見文を書き、説得力のある書き方だと思ったところ
1月	・想像力のスイッチを入れよう	・本文を読み、筆者が説明する「メディア」とは何かを読み取り、三つのまとまりごとに簡単に内容をまとめる。それぞれの事例とそれに対する筆者の意見を整理し、その効果について話し合う。自分の経験を思い起こして、メディアとの関わり方についての自分の考えを文章にまとめる。
2月	・伝わる表現を選ぼう ・この本おすすめします	・提案したいことを決める。目的に応じて根拠となる情報を集める。スピーチの内容や構成を考えて、スピーチメモと提案する資料を作る。スピーチを聞き合って、感じたことを伝え合う。 ・相手に応じた言葉の選び方について考え、言葉や表現に気をつけて、手紙を書く。 ・どんな人に、どんな本を推薦するかを考え、本の内容や推薦する理由を書く。
3月	・大造じいさんとガン	人物の心情や関係の変化を基に、物語の山場を捉え、情景を描いた表現を見つけ、その心情や表現の効果について考える。物語の中で、最も効果的な表現に着目し、物語の魅力についての考えを書く。

評価計画

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解している。	・提出物（ノート・プリント・課題等） ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価
思考・判断・表現	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。	・提出物（ノート・プリント・課題等） ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価 ・作品・作文
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとしている。	・授業に取り組む姿勢 ・提出物（ノート・プリント・課題等）

年間指導計画・評価計画

第5学年 算数

月	単元名	学習内容
4月	・整数と小数	十進位取り記数法によって表された整数及び小数の表し方や表し方の仕組みを考えたり、十進数としての特徴を統合的にとらえたりする。
	・直方体と立方体	直方体や立方体における直線や平面の関係や立体図形の特徴や性質について考えたり、立体図形を構成する要素や位置関係に着目し考察しりする。
5月	・変わり方を調べよう（1）	簡単な場合の比例の関係について理解し、伴って変わる2つの数量やそれらの関係を表を用いて考える力を養い、伴って変わる2つの数量の変化や対応の特徴を数学的表現を用いて考える。
	・小数のかけ算	乗数が小数の場合の乗法の意味について理解し、その計算の仕方を図や式を用いて考えたり、乗数が小数の場合の乗法の計算の仕方を乗法の性質や数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、乗法の意味をとらえ直したりする。
6月	・小数のわり算	除数が小数の場合の除法の意味について理解し、その計算の仕方を図や式を用いて考えたり、除数が小数の場合の除法の計算の仕方を除法の性質や数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、除法の意味をとらえ直したりする。
	・小数の倍	既習の倍の意味を基に基準量や比較量が小数の場合の倍の意味や簡単な割合による比較について理解し、倍の意味を図や式を用いて考えたり、整数と小数の倍の意味を統合的にとらえたりする。
7月	・合同な図形	図形の合同の意味や合同な図形の性質などについて理解し、図形を構成する要素や図形間の関係に着目して図形の性質について考えたり、図形を合同という観点で考察した過程を振り返ったり、合同の観点から既習の図形をとらえ直したりする。
9月	・図形の角	三角形や四角形の内角の和について理解し、それを用いて多角形の角の性質を考えたりする。
10月	・整数の性質を調べよう	偶数、奇数及び倍数、約数などについて知ったり、整数の性質についての理解を深めたり、観点を決めて整数を類別したり数の構成について考えたりする。
	・分数と小数、整数の関係	整数の除法の結果を分数で表すこと及び分数と小数、整数の関係について理解したり、分数の表現に着目してこれまで学習した分数の意味をまとめるとともに、除法の結果を分数で表したり分数と小数、整数の関係について考えたりした過程を振り返りたりする。
	・分数のたし算、ひき算	分数の性質や異分母の分数の加法及び減法の意味について理解し、通分、約分の仕方や計算の仕方を図や式を用いて考えるとともに、分数の性質や数学的表現を用いて通分、約分の仕方や計算の仕方を考えた過程を振り返りたりする。
11月	・平均	平均の意味について理解し、測定した結果を平均する方法について図や式を用いて考えるとともに、平均の意味や平均を求める方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返りたりする。
	・単位量当たりの大きさ	異種の2量の割合としてとらえられる数量について、速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し、単位量当たりの大きさをを用いた比べ方や表し方について図や式を用いて考えるとともに、単位量当たりの大きさの意味や表し方を数学的表現を用いて考えた過程を振り返りたりする。
12月	・四角形と三角形の面積	四角形や三角形の面積の求め方を理解し、図形の構成要素に着目して面積の求め方を考えるとともに、四角形や三角形の面積の求め方を数学的表現を用いて考えた過程を振り返りたりする。
1月	・割合	2つの数量の関係について、割合で比べる場合があることや、百分率による割合の表し方を理解し、割合を用いた比べ方や百分率の表し方について図や式を用いて考えるとともに、割合を用いた比べ方や百分率の表し方などを数学的表現を用いて考えた過程を振り返りたりする。
	・帯グラフと円グラフ	円グラフや帯グラフの特徴とそれらの用い方や、統計的な問題解決の方法について理解し、目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断したり、その結論について多面的にとらえ考察したりする。
2月	・変わり方調べ	伴って変わる2つの数量の関係を表す式についての理解を深め、伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式、図を用いて変化や対応の特徴について考えるとともに、伴って変わる2つの数量の変化や対応の特徴を数学的表現を用いて考えた過程を振り返りたりする。
	・正多角形と円周の長さ	正多角形の性質や円周率の意味について理解し、図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考えたり図形の性質を見いだしたりするとともに、円と関連させて正多角形の性質をとらえたり、円周率について帰納的に考察したりした過程を振り返りたりする。
3月	・角柱と円柱	角柱、円柱の意味や性質について理解し、図形を構成する要素に着目して図形の性質を見いだしたり図形の展開図のかき方について考えたりするとともに、図形を角柱、円柱として考察した過程を振り返り、既習の図形を角柱としてとらえ直したりする。
	・5年生の復習	問題を解決する。

評価計画

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けている。	・提出物（ノート・プリント・課題等） ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価
思考・判断・表現	ものの数、形、身の回りにあるものの特徴を捉え、数え方や計算の仕方、形の構成や量の大きさの比べ方を考えたり、判断したり、表現したりしている。	・提出物（ノート・プリント・課題等） ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価 ・作品・作文
主体的に学習に取り組む態度	数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考え、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	・授業に取り組む姿勢 ・提出物（ノート・プリント・課題等）

年間指導計画・評価計画

第5学年 理科

月	単元名	学習内容
4月	「天気と情報①」 (天気の変化)	・雲の様子と天気の変化の関係を調べる。 ・気象情報と天気の変化の関係を調べる。
5月	「天気と情報①」 (天気の変化)	・雲の様子と天気の変化の関係を調べる。 ・気象情報と天気の変化の関係を調べる。
	「生命のつながり①」 (植物の発芽と成長)	・種子に養分が含まれているかどうか、発芽して成長したものの子葉と比べながら調べる。
6月	「生命のつながり①」 (植物の発芽と成長)	・成長に日光や肥料が関係しているかどうか、条件を整えて調べる。
	「生命のつながり②」 (メダカのたんじょう)	・メダカの卵の中の様子を、変化したところを比べながら調べる。
7月	「生命のつながり②」 (メダカのたんじょう)	・メダカの卵の中の様子を、変化したところを比べながら調べる。
	「天気と情報②」 (台風と防災)	・台風が近づいたときの気象情報と天気の変化の関係を調べる。
9月	「生命のつながり③」 (植物の実や種子のでき方)	・花のつくりを他の花と比べながら調べる。 ・花が開く前と後のおしべとめしべを比べながら調べる。 ・受粉させた花と受粉させなかった花の変化を条件を整えて調べる。
10月	「流れる水のはたらきと土地の変化」	・流れる水の量とその働きを調べる。 ・流れる水の速さと川原の石の大きさや形の関係を調べる。 ・水の量の変化と土地の変化の関係を調べる。
11月	「もののとけ方」	・溶かす前の全体の重さと溶かした後の全体の重さを比べながら調べる。 ・水の量や水溶液の温度を変えたときの物が水に溶ける量を条件を整えて調べる。 ・水の量や水溶液の温度と、溶けている物が出てくることを関係付けて調べる。
12月	「ふりこの性質」	・振り子の1往復する時間は、振り子の長さで変わるか条件を整えて調べる。
1月	「電磁石の性質」	・電流の向きと電磁石の極のでき方を関係付けて調べる。 ・コイルの巻数と電磁石の強さの関係を条件を整えて調べる。
2月	「生命のつながり④」 (人のたんじょう)	・胎児の成長の様子をメダカの成長の様子と比べながら調べる。
3月	「生命のつながり④」 (人のたんじょう)	・胎児の成長の様子をメダカの成長の様子と比べながら調べる。

評価計画

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	自然事象の基礎を理解し、問題に適した方法で、観察や実験をすることができる。	・提出物(ノート・プリント・課題等) ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価
思考・判断・表現	自然現象の変化がおこる原因を考えることができる。	・提出物(ノート・プリント・課題等) ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価 ・作品・作文
主体的に学習に取り組む態度	活動内容を振り返り、見いだした課題に粘り強く取り組もうとしている。	・授業に取り組む姿勢 ・提出物(ノート・プリント・課題等)

年間指導計画・評価計画

第5学年 社会

月	単元名	学習内容
4月	1 日本の国土と人々の暮らし ・世界から見た日本	世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを理解する。
5月	・日本の地形や気候 ・さまざまな土地の暮らし	日本の地形を地図や写真などで調べ、日本の地形の特色や山脈、高原、盆地などのいろいろな地形について理解する。日本の気候を調べ、日本は地域によって気候が違うことを学習する。
6月	2 わたしたちの生活を支える食料生産 ・食生活を支える食料の産地 ・米作りのさかんな地域	農業や水産業などの食料生産は、自然条件をいかして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることなどを理解する。生産物の種類や分布、輸入など外国との関わりなどに着目して、食料生産が生活に果たす役割を考える。
7月	・水産業のさかんな地域	農業や水産業などの食料生産は、自然条件をいかして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることなどを理解する。生産物の種類や分布、輸入など外国との関わりなどに着目して、食料生産が生活に果たす役割を考える。
9月	・これからの食料生産	食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり、輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解する。また、生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格などに着目して、食料生産に関わる工夫や努力を捉える。
10月	3 工業生産とわたしたちの暮らし ・くらしや産業を支える工業生産 ・自動車工業のさかんな地域	様々な工業生産がおこなわれていることや、工業のさかんな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解する。また、工業の種類、地域、工業製品の改良などに着目して、工業生産の概要をとらえ、農業や水産業でも役だっていることをもとに、工業生産の役割を考える。
11月	・日本の貿易とこれからの工業生産	自動車工業は、消費者の多様な需要にこたえ、環境に配慮しながら優れた製品を生産するために工夫や改善をおこない、生活を支える重要な役割を果たしていることを理解する。製造工程、自動車工場と関連工場との相互の協力関係、優れた技術や開発などに着目し、自動車工業に関わる人々の工夫や努力をとらえ、その働きを考える。
12月	4 情報社会を生きるわたしたち ・情報をつくり、伝える	放送、新聞などの産業が国民生活に大きな影響を及ぼしていることなどを理解し、聞き取り調査や映像、新聞など、各種の資料で必要なことを調べ、まとめる。情報を発信するまでの工夫や努力などに着目して、放送、新聞などの産業の様子をとらえ、それらの産業が国民生活に果たす役割を考える。
1月	・情報を生かして発展する産業	情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解し、聞き取り調査や各種の資料で必要なことを調べる。情報の種類、活用の仕方などに着目して、産業における情報活用の現状をとらえ、情報をいかして発展する産業が生活に果たす役割を考える。
2月	5 国土の環境を守る ・環境とわたしたちの暮らし ・森林とわたしたちの暮らし	国土の自然環境と国民生活との関連について、関係機関や地域の人々の様々な努力により、公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことを理解する。公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目して、公害防止の取り組みをとらえ、その働きを考える。
3月	・自然災害から人々を守る	森林は、その育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力により、国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解し、地図帳や各種の資料で必要なことを調べる。森林が果たす役割や国土保全について考える。

評価計画

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	社会的事象の基礎を理解したり、資料を適切に活用して調べたことをまとめたりできる。	・提出物（ノート・プリント・課題等） ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価
思考・判断・表現	社会的事象について、自分なりの考えをもち、考えたことや選択・判断したことを説明したり、議論したりすることができる。	・提出物（ノート・プリント・課題等） ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について関心をもち、進んで調べようとしている。	・授業に取り組む姿勢 ・提出物（ノート・プリント・課題等）

年間指導計画・評価計画

第5学年 体育

	単元	目 標
一学期	体ほぐしの運動	・いろいろな体ほぐしの運動を行い、仲間と体を動かす楽しさや心地よさを味わう。
	体の動きを高める運動	・体の動きを高めるためのいろいろな運動の行い方を理解し、動きを工夫して体力を高める。
	鉄棒運動	・できそうな技に挑戦したり、できる技を組み合わせたりして、鉄棒運動を楽しむ。
	跳び箱運動	・いろいろな技に挑戦し、美しく安定した跳び方ができるようにする。
二学期	短距離走・リレー	・素早いスタートからいろいろな短距離走をしたり、みんなの力を生かす作戦を工夫してチーム対抗のリレーをしたりする。
	表現運動・はげしく〇〇する！	・生活や自然の中から、激しい感じや急変する感じなどの題材を見つけ、表したいイメージを感じを込めて踊る。
	フォークダンス・日本の民謡	・「阿波踊り」「ソーラン節」「春駒」など、日本の踊りの特徴を捉えてみんなで踊る。
	ハードル走	・ハードルの間を3歩のリズムで調子よく走り越して、記録に挑戦したり競走したりする。
	走り幅跳び	・リズムカルな助走から力強く踏み切って遠くへ跳び、自分の記録に挑戦したり、走り幅跳びの競争をしたりする。
三学期	ゴール型(シートバスケットボール)	・パスやシュートをしながら攻め方を工夫して、シートバスケットボールをする。
	ゴール型(フラッグフットボール)	・作戦を基に、攻め方や動き方を工夫して、フラッグフットボールをする。
	ベースボール型(ソフトボール)	・攻め方や守り方を工夫して、ソフトボールをする。
一学期	けがや事故の起こり方	・けがや事故は人の行動と周りの環境が原因で起こり、人の行動はそのときの心の状態や体の調子と関係していることを理解できるようにする。 ・けがや事故が起こる原因を人の行動と周りの環境に分け、説明できるようにする。 ・けがや事故が起こる原因について資料を見たり、生活を振り返ったりするなど、積極的に学習活動に取り組むことができるようにする。
	学校や地域でのけがの防止	・学校や地域でのけがの防止には、周囲の危険に気づくこと、的確な判断の下に安全に行動すること、安全な環境を整えることが必要であることを、理解できるようにする。 ・自分のけがに関わる経験を振り返り、危険の予測や回避の方法を考え、説明できるようにする。 ・学校や地域でのけがの防止について、生活を振り返ったり、危険の予測や回避の方法を考えたりするなど、積極的に学習に取り組むことができるようにする。
	交通事故の防止	・交通事故の防止には、周囲の危険に気づくこと、的確な判断の下に安全に行動すること、安全な環境づくりが必要であることを、理解できるようにする。 ・自己の周囲の環境を振り返り、危険の予測や回避の方法を考え、説明できるようにする。 ・交通事故の防止について、生活を振り返ったり、危険の予測や回避の方法を考えたりするなど、積極的に学習活動に取り組むことができるようにする。
	犯罪被害の防止	・犯罪被害にあわないためには、犯罪が起こりやすい場所を避けることや、犯罪に巻き込まれそうになったらすぐに助けを求めることが必要であることを理解できるようにする。 ・犯罪被害から身を守るために、危険を予測し、回避の方法を考えて、説明できるようにする。 ・犯罪被害の防止について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習活動に、積極的に取り組むことができるようにする。
	けがの手当	・自らできる簡単な手当には、傷口を清潔にする、圧迫して出血を止める、患部を冷やすなどの方法があることを知り、手当ができるようにする。 ・自分のけがに関わる経験を振り返ったり、学習したことを活用したりして、けがの適切な手当の方法を考えたり、選んだりできるようにする。 ・けがの手当について、これまでの経験を振り返ったり、実習に取り組んだりして、積極的に学習活動に取り組むことができるようにする。

評価計画

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	運動の行い方及び心の健康やけがの防止について理解するとともに、基本的な技能を身に付けている。	・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価 ・実技
思考・判断・表現	自己の運動や健康の課題を見付け、解決のための方法を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価 ・実技
主体的に学習に取り組む態度	運動に積極的に取り組み、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意して自己の最善を尽くして運動しようとしている。	・授業に取り組む姿勢 ・実技

年間指導計画・評価計画

第5学年 図画工作

月	単元	学習内容
一学期	絵の具スケッチ 2～4	身近な場所やものを見て、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、よいと感じた印象や思いを絵に表す。
	あんなところがこんなところに 4～6	身近な場所の特徴から発想を広げて、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、いろいろな材料を活用し、工夫して楽しい空間につくりかえる。
	のぞいてみると 感じたこと、想像したこと、見たことから表す／様々な材料で 4～6	穴を開けた段ボールに差し込む光の様子から表したいことを見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、材料や用具の使い方を工夫して表す。
	心のもよう 感じたこと、想像したこと、見たことから表す／想像したことから表す 2～4	思いのままにかいた形や色を見ながら、自分の気持ちを見つめ表したいことを見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、工夫して表す。
	カードを使って 自分の作品や身近な美術作品などのよさや面白さ・美しさを感じ取る 1	自分たちでつくったカードを使って、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、感じたことや思ったことを伝え合い、よさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める。
	形が動く 絵が動く 遊ぶもの・仕組みから思い付いたものをつくる 4～6	動きが連続して見えるアニメーションの仕組みを生かして、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表現を工夫して楽しい作品をつくる。
二学期	糸のこすイスイ 材料や用具に触れながら思い付いたことを表す／様々な材料で 4～6	電動糸のこぎりの使い方を工夫して自由に切り分けたいろいろな形の板に切込みを入れ、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、組み合わせで立体に表す。
	心に残ったあの時 あの場所 感じたこと、想像したこと、見たことから表す／生活経験から表す 2～8	生活の中で心に残ったことや様子を思い浮かべ、そのとき感じた気持ちや思いに合う形や色などの造形的な特徴を捉えながら、工夫して絵に表す。
	使って楽しい焼き物 飾るもの・使えるものをつくる 4～6	目的や用途に合わせて発想し、焼成に適した粘土や釉薬などを用いて、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、つくり方を工夫して楽しく使える焼き物をつくる。
	まだ見ぬ世界 感じたこと、想像したこと、見たことから表す／想像したことから表す 2～6	心に留まる写真から、まだ見たこともない世界の様子を想像し、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して絵に表す。
	水から発見 ここきれい！ 身の回りのものの楽しさや面白さ・よさを感じ取る 2～6	透明容器に入れた色水を組み合わせ、みんなで見たりデジタルカメラなどで撮影したりして、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、見付けたよさや美しさを味わい、感じたことを伝え合う。
	立ち上がれ！ ワイヤアート 材料や用具に触れながら思い付いたことを表す／様々な材料で 4～6	針金を曲げたり立たせ方を工夫したりして形を変えながら、形などの造形的な特徴を捉えて立体に表す。
	でこぼこの絵 材料や用具に触れながら思い付いたことを表す 3～8	薄い板材を重ねてできる、でこぼこの面白さから表したいことを見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、構成の美しさなどの感じを考え、自分の思いに合わせて工夫して絵に表す。
	ミラクル！ ミラステージ 感じたこと、想像したこと、見たことから表す／様々な材料で 5～8	鏡のもつ面白さや不思議さを生かして、映り方や見え方を試しながら、形や色などの造形的な特徴を捉え、材料の組合せ方を工夫して立体に表す。
	消してかく 材料や用具に触れながら思い付いたことを表す 2～6	コンテで塗り込んだ画面を消しゴムで消しながら現れる形から表したいことを見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、自分の思いに合う表し方を工夫して絵に表す。
三学期	わくわくブレイランド 遊ぶもの・仕組みから思い付いたものをつくる	木の板を使って楽しく遊ぶゲームを考え、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、材料や用具の使い方を工夫して表す。
	光と場所のハーモニー 材料や場所を基にして活動する／場所・環境を生かして	Scratchで作成した動く絵を場所に投影し、投影した様子を基に、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、活動を工夫してプログラムをつくりかえる。
	言葉から思いを広げて	詩や短歌、物語などの言葉からにじみ出る雰囲気や感じ取った思いが伝わるように、画面の構成を考え、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して絵に表す。
	わたしのいい形 材料や用具に触れながら思い付いたことを表す／粘土で 2～4	粘土などの塊に触れ、感じたり思い浮かんだりしたことを、手や用具の使い方を工夫して彫って、形などの造形的な特徴を捉えながら立体に表す。
	ほり進めて刷り重ねて 版に表す 4～8	彫ったり刷ったりしながら、形や色などの造形的な特徴を捉え、表し方を工夫して彫り進み木版に表す。
三学期	伝え合いたい思い 伝えるものをつくる 5～8	大好きな場所のよさや思いを伝えることができるように、形や色などの特徴を捉えながら、材料や用具の使い方を工夫して表し紹介する。

評価計画

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	表現方法に応じて材料や用具を活用し、経験や技能を活かし、表現方法を組み合わせるなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫している。	・提出物(ノート・プリント・課題等) ・作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価
思考・判断・表現	バランスや色合いなどを基にイメージをもって表し方を考え、鑑賞しながら表現の意図や特徴などについて自分の見方や感じ方を広げている。	・提出物(ノート・プリント・課題等) ・作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価 ・作品
主体的に学習に取り組む態度	つくりだす喜びを味わい、主体的に表したり、見たりして活動しようとしている。	・授業に取り組む姿勢 ・作品

年間指導計画・評価計画

第5学年 家庭科

月	単元名	学習活動
一学期	①家族の生活を見つめよう 教：p.8	○これまでの自分の生活が家族に支えられてきたことに気づく。
	②生活を支える家庭の仕事 教：p.9	○生活を支える家族の仕事はさまざまあり、家族の協力が必要なが分かる。
	①なぜ整理・整とんをするのだろう 教：p.28・29	○整理・整とんの仕方について問題を見いだして課題を設定する。
	②どのような整理・整とんができるだろう 教：p.32・33	○整理・整とんの仕方を理解しているとともに、適切に行う。 ○整理・整とんの仕方について実践に向けた計画を考え工夫する。
	③物の使い方を工夫しよう 教：p.32・33	○環境に配慮した物の使い方について理解する。 ○整理・整とんの仕方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとする。
	①なぜめうのだろう 教：p.20	○疑問点や調べたいことをもとに、課題を設定する。
二学期	②どのような用具や方法でめうのだろう 教：p.21～24	○玉結び、玉どめの役割が分かり、玉結び・玉どめができる。 ○なみ縫い、返し縫い、かがり縫いそれぞれの縫い方の役割や、ボタンのつけ方が分かり、目的に合った縫い方やボタンつけができる。
	③手ぬいを生活に生かそう 教：p.25～27	○なみ縫い、返し縫い、かがり縫いで小物を作ることができる。 ○これまでの学習をふり返り、できるようになったことを自覚したり、製作への意欲をさらに高めたりする。
	①自分にできる仕事を見つけよう 教：p.35	○学んだことを生かして自分にできる家庭の仕事を見つめる。
	②工夫して仕事をしよう 教：p.35	○見つけた仕事に取り組む計画を立て、実行することができる。
	③実行し、続けよう 教：p.36	○自分の仕事として、家族と協力して続けることができる。
	①何にお金を使っているのだろう教：p.58・59	○物や金銭の大切さについて理解する。
三学期	②よりよい買い物の仕方を考えよう 教：p.60・61	○消費者の役割について理解する。 ○物や金銭の計画的な使い方について理解する。
	③買い物の仕方を工夫しよう 教：p.62・63	○身近な物の選び方について理解する。 ○身近な物の買い方について理解する。
	①なぜミシンでめうのだろう 教：p.38	○身の回りの生活にはミシンで作られているものが多いことに気づき、ミシンに関心をもち、ミシン縫いの特徴が分かる。
	②ミシンの使い方を知ろう 教：p.39～41	○ミシンの安全な使い方を知り、ミシンの準備やから縫いができる。
	③ミシンを使って作ってみよう 教：p.42～47	○ミシンを使って布を用いて製作するものを考え、製作計画を立てて製作し、活用することができる。
	①どのような着方が暖かいだろう 教：p.65	○衣服の主な働きや暖かい着方の特徴に気づく。
三学期	②衣服の働きを知ろう 教：p.66	○衣服をどのように着ると健康で快適に過ごせるか、安全に生活できるかなどの衣服の主な働きについて理解する。
	③衣服の着方を工夫しよう 教：p.67	○日常着の快適な着方を工夫する。
	①寒い日はどのように過ごしているだろう 教：p.68	○住まいの主な働きが分かる。
	②暖かく快適な住まい方 教：p.69・70	○寒い季節の快適な住まい方が分かる。 ○暖かい住まい方について課題を見出し、快適に過ごすための方法を考えることができる。
	③快適さアップを工夫しよう 教：p.71	○自分の生活に合わせて工夫し、快適な住まい方を実践することができる。
	①ほっとするのは、どのようなときだろう 教：p.73	○家族や周囲の人との触れ合いや団らんに関心をもち、よりよい関わりについて考え、その大切さが分かる。
三学期	②周囲の人との関わりを考えよう 教：p.74	○家族や周囲の人々と楽しく過ごすことについて考えたり、自分の生活の中で生かすことを考えたり工夫したりする。
	①なぜ調理をするのだろう教：p.10・	○調理をすることの良さや、調理の流れ、調理用具の使い方が分かる。
	②ゆでて食べよう教：p.12～17	○野菜のゆで方が分かり、ゆでることができる。○じゃがいものゆで方が分かり、ゆでることができる。
	③工夫しておいしい料理にしよう教：p.	○必要な材料や手順を考えゆで野菜サラダの計画を立てることができる。 ○調理に必要な用具や食品を安全で衛生的に取り扱い、ゆで野菜サラダを作ることができる。
	①なぜ毎日食事をするのだろう 教：p.48	○なぜ食べるのか食事の役割が分かる。
	②ご飯とみそしるは食事の基本 教：p.49～55	○ご飯の調理の仕方が分かり、ご飯をたくことができる。 ○みそしるの調理の仕方が分かり、みそしるを作ることができる。
三学期	③日常の食事に生かそう 教：p.56	○毎日の食事に栄養を考えた食事やご飯とみそしるの調理を生かそう。

評価計画

評価の観点	評価規準	評価の方法
知識・技能	日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。	・提出物（ノート・プリント・課題等） ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価
思考・判断・表現	日常生活の中から課題を見だし、様々な解決方法を考えたり表現したりしている。	・提出物（ノート・プリント・課題等） ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価 ・作品・作文
主体的に学習に取り組む態度	課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	・授業に取り組む姿勢 ・提出物（ノート・プリント・課題等）

年間指導計画・評価計画

第5学年 音楽

月	単元	学習内容
一 学 期	○すてきな一歩	・曲の感じを生かして、明るい声で歌いましょう。
	(共) こいのぼり	・曲の特徴を生かして、明るい声で歌いましょう。
	◇小さな約束	・リコーダーの音が重なり合うひびきを感じ取りながら演奏しましょう。
	○いつでもあの海は	・歌声が重なり合うひびきを感じ取りながら合唱しましょう。
	♪ アイネ ク ラ イ ネ ナハトムジーク	・いろいろな楽器の音が重なり合うひびきを味わいながらききましょう。
	♪プレリュード	
	◇リボンのおどり(ラ バンパ)	・いろいろな楽器の音が重なり合うひびきを楽しみながら演奏しましょう。
	♪祝典序曲	・オーケストラのひびきに親しみましょう。
	♪アフリカン シンフォニー	
	☆打楽器でリズムアンサンブル	・打楽器の音色や音楽の仕組みを生かして、リズムアンサンブルをつくりましょう。
	◇○静かにねむれ	・和音の移り変わりを感受取りながら演奏しましょう。
	○こけ ^ろ よマイケル (Michael, row the boat ashore)	・和音の移り変わりを感受取りながら合唱しましょう。
二 学 期	○夢の世界を	・曲想の変化を感受取って、明るい声で歌いましょう。
	◇キリマンジャロ	・曲想を生かして合奏しましょう。
	♪待ちぼうけ	・詩と音楽との結び付きに気を付けて、日本語の歌曲を味わいましょう。
	♪赤とんぼ／この道	
	(共) 冬げしき	・歌詞の表す情景を思いうかべながら歌いましょう。
	(共) スキーの歌	・曲想を生かして歌いましょう。
	♪春の海	・日本の楽器のひびきと旋律の美しさを味わいながらききましょう。
	(共) 子もり歌	・日本の旋律の美しさを味わいながら歌いましょう。
	♪ソーラン節／かりぼし切り歌	・音楽の特徴を感受取りながら、日本の民謡をききましょう。
	☆音階の音で旋律づくり	・日本の音階を使って旋律をつくりましょう。
三 学 期	◇威風堂々	・きいている人に、音楽のもり上がりが伝わるように演奏しましょう。
	○大空がむかえる朝	・歌詞の表す気持ちを大切に歌いましょう。
	○ほたるの光	
	ちいさい秋みつけた／海	・世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。

評価計画

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解している。	表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌ったり、演奏したり、音楽をつくったりしている。
思考・判断・表現	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。	どのように表すかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見だし、音楽を味わって聴いたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとしている。	音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。

年間指導計画・評価計画

第5学年 外国語

学期	単元名	小単元名
1 学 期	Hello, friends.	英語を聞いて、場面の順に口に番号を書こう。
		名前のつづりや好きなもの・ことをたずね合おう。
		名刺交換をしよう。
		世界の名前について考えよう。
	When is your birthday?	英語を聞いて、場面の順に口に番号を書こう。
		誕生日やほしいものについてたずね合おう。
		バースデーカードをおくろう。
		世界の一年について考えよう。
	What do you want to study?	英語を聞いて、場面の順に口に番号を書こう。
		学びたい教科やなりたい職業についてたずね合おう。
		夢に近づく時間割を紹介しよう。
		世界の授業について考えよう。
	外国の人に自己紹介をしよう	外国の人に自己紹介をしよう
2 学 期	He can bake bread well.	英語を聞いて、その場所や人を表す絵の順に口に番号を書こう。
		あなたや身近な人のできること・できないことを紹介し合おう。
		身近な人紹介カードを作ろう。
		世界の町で働く人々について考えよう。
	Where is the post office?	英語を聞いて、行き先までの道順を書こう。
		どこにあるかをたずね合おう。
		オリジナルタウンで道案内しよう。
		世界の地図や標識について考えよう。
	What would you like?	英語を聞いて、場面の順に口に番号を書こう。
		ていねいな表現で注文したり会計したりしよう。
		ふるさとメニューを注文しよう。
		世界の食文化について考えよう。
	地域のおすすめを紹介しよう	地域のおすすめを紹介しよう
3 学 期	Welcome to Japan.	英語を聞いて、場面と話題の順に口に番号を書こう。
		日本の遊びや年中行事などについてたずね合おう。
		日本の四季ポストカードを紹介しよう。
		世界に広がる日本文化について考えよう。
	Who is your hero?	英語を聞いて、話題の順に口に番号を書こう。
		日常生活やあこがれの人についてたずね合おう。
		ヒーローを紹介しよう。
		日本生まれのヒーローについて考えよう。
	「日本のすてき」を紹介しよう	「日本のすてき」を紹介しよう

評価計画

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解している。	・提出物（ノート・プリント・課題等） ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価
思考・判断・表現	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。	・提出物（ノート・プリント・課題等） ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価 ・作品・作文
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとしている。	・授業に取り組む姿勢 ・提出物（ノート・プリント・課題等）

年間指導計画・評価計画

第5学年 道徳

月	単元	学習内容
一学期	1 夢を実現するためには	野球選手の大谷翔平さんの実践を通して、夢や目標を実現するのに大切なのはどんなことを考えさせ、夢や目標を設定し、その達成を目ざして努力しようとする実践意欲と態度を育てる。
	2 流行おくれ	節度ある生活が実現できていないまゆみの姿を通して、節度ある生活を送るために大切なのはどんなことを考えさせ、自分の生活の改善すべき点は進んで見直し、望ましい生活習慣を築こうとする実践意欲と態度を育てる。
	3 あいさつって	「挨拶」に関する3つの事例を通して、挨拶や礼儀はなぜ大切なのかを考えさせ、礼儀の意義を理解したうえで、相手に真心をもって接しようとする実践意欲と態度を育てる。
	4 友のしょうごう画	病気の章太と、心配していた「ぼく」が、交流を続けようとする姿を通して、友達を思う心とはどんなものなのかを考えさせ、友達と互いに信頼し、支え合って友情を深めていこうとする心情を育てる。
	5 わたしは飼育委員	委員会の仕事に不満をもっていた加菜が変容する姿を通して、自分の役割を果たすためにはどんなことが大切かを考えさせ、集団における自分の役割を自覚し、責任を果たそうとする実践意欲と態度を育てる。
	6 公園のきまりを作ろう	さまざまな人がいる公園の絵を基に、きまりはどのように作られるのかを考えさせ、きまりの意義を理解したうえで、それを進んで守っていこうとする実践意欲と態度を育てる。
	8 どうすればいいのだろう	友達とのやり取りの中で、迷ったり悩んだりする2つの事例を通して、公正・公平に行動するためにはどんな心が必要かを考えさせ、周囲の雰囲気や人間関係に流されず、自分の意志を強くもち、社会正義の実現のための判断力を育てる。
	9 道案内	道に迷っているおばあさんに親切にしようとした「ぼく」や中学生の姿を通して、親切な行いをするときに大切なことは何かを考えさせ、自分が相手に対してどのように接し、対処することが相手のためになるのかをよく考えて行動しようとする実践意欲と態度を育てる。
	10 命の詩——電池が切れ	みやこしゆきなさんが書いた命についての詩やエピソードを通して、命の大切さについて考えさせ、命のかけがえのなさを自覚し、限りある命を懸命に生きようとする心情を育てる。
	11 一ふみ十年	高山植物の育ち方やそれを守り続けてきた人々の話を聞き、気持ちを改める勇の姿を通して、自然と人はどう関わっていくのがよいか考えさせ、人間と自然や動植物との共存の在り方に関心をもち、自然環境を大切にしていこうとする実践意欲と態度を育てる。
二学期	12 宇宙から見えたもの	宇宙から見た地球の様子を、文章と写真で見つめることを通して、宇宙の広がり思いをはせ、美しいものや気高いものに感動する気持ちや、人間の力を超えたものへの畏敬の念を大切にしようとする心情を育てる。
	13 自分の身は自分で守る	防災訓練への「わたし」の意識や、交通事故を起こした「ぼく」の姿を通して、安全に生活するためにはどんなことが大切なのかを考えさせ、日頃から安全に関して高い意識をもち、周囲の人々の安全にも気をつけていこうとする実践意欲と態度を育てる。
	14 ケンタの役割	2つの役割を同時に果たさなければならぬケンタの姿を通して、自分の行動を決断するときに必要なことについて考えさせ、集団における自分の役割と責任を自覚し、集団生活の充実にもつめるための判断力を育てる。
	15 ドッジボール対決	自分のクラスの団結と隣のクラスの友達との間で板挟みになる真の姿を通して、互いに高め合うことのできる友情とはどんなものなのかを考えさせ、友達どうしの相互の信頼の下に、協力して学び合おうとする心情を育てる。
	16 「同じでちがう」	生き物は全て「同じでちがう」存在であるという文章を通して、人や生き物が「同じでちがう」とはなぜすばらしいのかを考えさせ、一人一人の命のかけがえのないものであることを理解したうえで、それぞれの命を尊重し、大切にしていこうとする心情を育てる。
	17 だれもが幸せになれる	ハンセン病の歴史や、ハンセン病患者であるきみ江さんの姿を通して、誰もが幸せになれる社会とはどんなものなのかを考えさせ、社会的な差別や偏見と向き合い、公正、公平な態度で行動し、社会正義の実現にもつめようとする心情を育てる。
	18 ブランコ乗りとピエロ	対立していた2人が歩み寄り、協力してサーカスを成功させていく姿を通して、考えの違う者どうしが関わり合って暮らすためにはどんな心が必要かを考えさせ、自分の考えや意見を相手に伝えるときにも、広い心で相手の思いや立場も尊重しようとする心情を育てる。
	19 水がわたる橋	人々の生活をよりよくするために尽力した布田保之助の姿を通して、自分たちの生活が誰によって支えられているのかを考えさせ、自分の生活が過去からの多くの人の支えによって成り立っていることを理解し、感謝の気持ちをもちようとする心情を育てる。
	20 いこいの広場	公園でキャッチボールをする中学生と、それを注意する男性の言い合いを見た「ぼく」の姿を通して、責任ある行動とはどんなものなのかを考えさせ、自由に伴う責任の大きさや、自分の行動が周囲に与える影響をよく考えたうえで行動しようとする判断力を育てる。
	21 クール・ボランティア	実際にボランティア活動をして気持ちが変わっていく信二の姿を通して、ボランティア活動は何のために行うのかを考えさせ、働くことや社会に奉仕することの意義ややりがい理解したうえで、公共のために役に立とうとする実践意欲と態度を育てる。
三学期	22 曲げわっぱから伝わる	「曲げわっぱ」の伝統を守り発展させている人々の努力や工夫を知った雪菜の姿を通して、伝統や文化を守るためには何が必要かを考えさせ、受け継がれている伝統や文化を大切に、さらに発展させていこうとする心情を育てる。
	23 真の看護を求めて	細かな観察から真実を突き止め、解決への道を開いたナイチンゲールの生き方を通して、真実を追求しようとする思いはなぜ大切かを考えさせ、疑問やわからないことをそのままにせず、真実を追求し続けようとする心情を育てる。
	24 「自分らしさ」を見つめ	「『自分らしさ』のまど」を完成させる活動と、手塚治虫さんのエピソードを通して、いろいろな自分を知り、「自分らしさ」を見つめることについて考えさせ、自分の短所と長所に目を向け、自分自身を伸ばしていこうとする実践意欲と態度を育てる。
	25 祖母のりんご	優しかった祖母のことを思い出して気持ちが変わっていく「わたし」の姿を通して、家族とはどんなものなのかを考えさせ、家族の一員としての自覚をもち、家庭生活に貢献していこうとする実践意欲と態度を育てる。
	26 おおきに、ありがと	「日本の和菓子はすばらしい」と言われ、大事な気持ちに気づく「わたし」の姿を通して、日本の伝統や文化について考えさせ、受け継がれている我が国の伝統や文化を尊重し、さらに発展させていこうとする心情を育てる。
	27 小さな国際親善大使	国ごとにさまざまな違いがあることに強い関心を抱く芽衣の姿を通して、他国の習慣や文化を理解することはなぜ大切かを考えさせ、他国への関心や理解を深め、相互に尊重し合いながら、国際親善にもつめようとする実践意欲と態度を育てる。
	28 お客さま	きまりを守らず自分の都合を優先する人を見たことで、気持ちが晴れない「わたし」の姿を通して、きまりは何のためにあるのかを考えさせ、互いの権利を尊重し合い、必要なきまりを進んで守ろうとする実践意欲と態度を育てる。
	29 うばわれた自由	森のきまりを巡り、それぞれの意見を主張するガリユーとジェラルルの姿を通して、「本当の自由」とはどのようなものか考えさせ、自由に伴う責任の大きさを感じ取り、自律的で責任のある行動を取ろうとする実践意欲と態度を育てる。
	30 マークが伝えるもの	ピクトグラムの意味を知り、その意義について考える理子の姿を通して、ピクトグラムにはどんな考えや思いが込められているのかを考えさせ、相手の置かれている状況を自分に置き換えて想像し、思いやりの心を表そうとする心情を育てる。
	31 千羽づる	友達との約束に対して、うそをついてごまかしてしまった南の姿を通して、誠実に生きるにはどんな心が必要かを考えさせ、後ろめたさを感じることなく、誠実に明るく心で生活しようとする心情を育てる。
三学期	32 最後のコンサート——	病に侵されながらも演奏家としての自分の生き方を全うした徳永兼一郎さんの姿を通して、「精いっぱい生きる」とはどういうことかを考えさせ、限りある命を懸命に生きることの尊さや生きることの意義を感じ、生命を尊重しようとする心情を育てる。
	33 おばあちゃんからもら	自分の命を守ってくれたおばあさんに対する感謝の気持ちをもつめぐみさんの姿を通して、相手の思いに応えるためにできることは何かを考えさせ、人の温かな思いの中に自分の生活があることに感謝し、自分にできることを進んで行おうとする実践意欲と態度を育てる。
	34 世界最強の車いすテニ	努力と強い意志によって困難を乗り越えていく国枝選手の姿を通して、何かにくじけないために大切なことについて考えさせ、目標をもち、困難があってもくじけずに努力しようとする実践意欲と態度を育てる。
	35 アンパンマンがくれた	東日本大震災のときに人々の心を癒した「アンパンマンのマーチ」を通して、「生きるよろこび」とは何かを考えさせ、つらさや弱さを乗り越え、目ざす生き方、誇りある生き方、夢や希望など喜びのある生き方をしていこうとする心情を育てる。